



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 大沢 和春
 (氏名) 大澤 弘毅
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,796	3.4	337	27.4	344	26.0	218	28.7
2019年12月期第2四半期	2,895	10.1	464	3.6	466	3.1	306	3.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 217百万円 (28.8%) 2019年12月期第2四半期 305百万円 (3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	22.67	
2019年12月期第2四半期	31.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	4,912	4,119	83.9	426.44
2019年12月期	4,904	4,075	83.1	421.94

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 4,119百万円 2019年12月期 4,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		18.00	18.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	7.8	900	4.8	900	4.1	594	4.2	61.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	10,242,000 株	2019年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	582,305 株	2019年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	9,659,695 株	2019年12月期2Q	9,659,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、2020年8月19日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いていた雇用情勢や所得環境が一転し、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の停滞が生じ、先行きに対する懸念が急速に拡大しております。当社事業と関連性が高い証券市場や投資信託市場においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け株価は一時急落し、投資信託の純資産総額も大幅に減少する状況となりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,796百万円(前年同期比98百万円減、3.4%減)、営業利益は337百万円(前年同期比127百万円減、27.4%減)となりました。また、経常利益は、344百万円(前年同期比121百万円減、26.0%減)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発は堅調を継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も順調に推移しております。一方、サービス品質強化のための人員体制増強などにより販売費及び一般管理費が増加し、前年同期比で増収減益となっております。

その結果、売上高は699百万円(前年同期比2百万円増、0.4%増)、営業利益は269百万円(前年同期比46百万円減、14.7%減)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスを中心に売上を大きく伸ばすとともに、企業年金関連のソリューションサービスでは、ロボットアドバイザーアプリの提供を新たに開始し、業績に寄与しております。一方、連結子会社である株式会社東京ロジプロの物流サービス、株式会社アイコスの翻訳・通訳サービスなど非金融向け顧客比率の高いサービスについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞の影響を大きく受けております。

その結果、売上高は989百万円(前年同期比0.8百万円増、0.1%増)、営業利益は81百万円(前年同期比40百万円減、33.4%減)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の減少、公募投資信託の本数及び新規設定本数の減少が続いており、これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で減少しております。また緊急事態宣言に伴う経済活動停滞の影響や、新ソリューション展開のための費用の増加により、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は712百万円(前年同期比91百万円減、11.4%減)、営業利益は136百万円(前年同期比58百万円減、29.9%減)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は第1四半期までは堅調に推移していましたが、緊急事態宣言に伴う経済活動停滞の影響を受けつつあります。一方、販売費及び一般管理費削減の効果により、前年同期比で減収増益となっております。

その結果、売上高は395百万円(前年同期比10百万円減、2.6%減)、営業利益は28百万円(前年同期比17百万円増、164.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、4,912百万円となりました。

流動資産合計は51百万円増加し、4,247百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が215百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が113百万円、仕掛品が33百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は42百万円減少し、665百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により28百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、793百万円となりました。

流動負債は36百万円減少し、667百万円となりました。主な要因は、買掛金が35百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の126百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、4,119百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益218百万円の計上による増加と、剰余金の配当173百万円による減少であります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、3,751百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は416百万円(前年同期は291百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益344百万円、のれんの償却額28百万円、売上債権の減少額137百万円であります。また、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額35百万円、法人税等の支払額125百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は27百万円(前年同期は34百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出16百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は173百万円(前年同期は77百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額173百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、現時点では当社グループの業績への影響が不透明であることから2020年2月10日に公表の予想値を据え置いております。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,540	3,765,393
受取手形及び売掛金	523,956	410,590
仕掛品	65,675	31,725
その他	56,760	39,335
流動資産合計	4,195,932	4,247,045
固定資産		
有形固定資産	64,428	64,223
無形固定資産		
のれん	285,447	256,533
ソフトウェア	109,285	103,507
ソフトウェア仮勘定	4,043	3,127
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	400,246	364,638
投資その他の資産	243,973	236,839
固定資産合計	708,648	665,701
資産合計	4,904,580	4,912,747
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,511	175,698
未払法人税等	135,528	129,239
賞与引当金	16,471	18,584
その他	340,192	343,492
流動負債合計	703,703	667,014
固定負債		
退職給付に係る負債	15,117	16,516
その他	109,982	109,982
固定負債合計	125,100	126,499
負債合計	828,804	793,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,327,176	3,372,295
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	4,070,020	4,115,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△368	△413
為替換算調整勘定	6,123	4,507
その他の包括利益累計額合計	5,755	4,094
純資産合計	4,075,776	4,119,233
負債純資産合計	4,904,580	4,912,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,895,144	2,796,912
売上原価	1,751,741	1,722,946
売上総利益	1,143,403	1,073,966
販売費及び一般管理費	678,477	736,227
営業利益	464,925	337,739
営業外収益		
受取利息	396	363
受取配当金	163	98
持分法による投資利益	1,488	1,029
助成金収入	—	6,600
その他	775	638
営業外収益合計	2,823	8,729
営業外費用		
為替差損	1,719	1,654
その他	7	29
営業外費用合計	1,726	1,683
経常利益	466,023	344,784
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	466,023	344,784
法人税、住民税及び事業税	136,281	120,364
法人税等調整額	22,757	5,426
法人税等合計	159,039	125,791
四半期純利益	306,983	218,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,983	218,993

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	306,983	218,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,689	△1,616
その他の包括利益合計	△1,716	△1,661
四半期包括利益	305,266	217,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,266	217,331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466,023	344,784
減価償却費	24,088	28,807
のれん償却額	29,060	28,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,615	2,112
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,460	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,151	1,398
受取利息及び受取配当金	△559	△461
持分法による投資損益(△は益)	△1,488	△1,029
売上債権の増減額(△は増加)	26,886	137,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,007	33,949
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,460	△35,813
未払又は未収消費税等の増減額	△9,389	2,080
その他	△10,275	△12,582
小計	474,953	529,495
利息及び配当金の受取額	750	650
法人税等の支払額	△184,681	△125,963
法人税等の還付額	—	12,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,022	416,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,004	△11,023
無形固定資産の取得による支出	△30,319	△16,098
投資有価証券の償還による収入	45	38
保険積立金の解約による収入	1,102	—
定期預金の預入による支出	△600	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,776	△27,683
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△77,278	△173,874
その他	—	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,278	△173,995
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,967	215,253
現金及び現金同等物の期首残高	3,115,886	3,536,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,294,854	3,751,978

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソリ ューション事業	ファンド ディスク ロージャー ー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
外部顧客への売上高	696,413	988,446	804,565	405,719	—	2,895,144	—	2,895,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,641	—	30,308	—	34,950	△34,950	—
計	696,413	993,088	804,565	436,028	—	2,930,094	△34,950	2,895,144
セグメント利益又は損 失(△)	315,655	121,970	195,061	10,593	—	643,281	△178,356	464,925

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,356千円には、セグメント間取引消去△5,930千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△172,426千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

より事業の実態に即した採算管理を行うため、第1四半期連結会計期間より、「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	ITソリ ューション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	699,380	989,282	712,932	395,317	—	2,796,912	—	2,796,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,350	3,372	—	22,888	—	30,610	△30,610	—
計	703,730	992,654	712,932	418,205	—	2,827,523	△30,610	2,796,912
セグメント利益又は損 失(△)	269,373	81,240	136,782	28,061	—	515,457	△177,718	337,739

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,718千円には、セグメント間取引消去△304千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△177,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。